

2019年7月18日

前期終業式

奨励

聖書 マタイによる福音書 7章 7-12節

7 「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。8 だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。9 あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。10 魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。11 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。12 だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

与えられる、見つかる、開かれる

今年は日照時間の短い梅雨が続いていますが、蝉の鳴き声も聞こえ、そろそろどこまでも続く夏の青空が待ち遠し頃となりました。

学校はまだ学習登校日や三者面談もありますが、今日で前期が終了となります。この後、お一人お一人に成績表が渡されます。皆さんの学びの記録です。でもそれは昨日までの記録であって、私は今日からの、そして夏休み明けの皆さんの成長が、今からもう楽しみにしています。

また今日は生徒部、保健室からのお便り、そして各学年から「学年だより」も手渡されます。先生方がご家族皆様への感謝と共に、皆さんお一人お一人が英和の6年間のどの夏休みを迎えようとしているのか、それぞれの学年カラーに合った夏休みの過ごし方のヒントがそこにあります。ぜひ毎朝読んで、自分自身を見つめ直しながら過ごして下さい。

イエス様は次のように言われていました。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」（7節）。それでは何でも自分が願うものが与えられるのでしょうか。そうではないことは、誰もが知っていることです。それではイエス様は何を求め、何を探し、どんな門をたたきなさいと言われたのでしょうか。

その答えは最後の12節にあるように「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」（12節）ということです。これは「隣人を自分のように愛しなさい。」（ルカによる福音書10章27節）ということと同じです。イエス様はそれを求め、探し、その道に通じる門をたたきなさいと言われているのです。

そしてイエス様は「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。」（マタイ6章8節）とも言っています。神様は、私たちが求める前から、探す前から、門をたたく前から、私たちに必要なものをご存じで、もうすでに用意して待っていて下さっているということです。それを私たちはすでにイエス様の生涯そのものから知ることができていますし、学校生活で、夏休みの体験でも確かめることができますね。夏休みも聖書を開いてイエス様の生涯を通して励まされ、過ごされますようにお祈りしています。

静岡英和女学院中学校・高等学校

校長 大橋 邦一